1. 指定管理者名	河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ
2. 指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
3. 業務の範囲	(1)施設の利用に関する業務①来館者の対応②イベント、講座や展示会を企画し、実施すること③イベント、講座の申し込み受付④小学校等の総合的な学習の時間における対応⑤生き物の飼育展示及び館内での自然体験業務⑥展示物・書籍等の管理⑦水槽及び付属機器の保守管理 (2)公共機関及び関連団体、自然団体や市民団体との共同事業、事業活動サポート、河川整備事業に係る助言等のサポート、連絡調整会議への出席、講師派遣の協力等を行うこと。 (3)観察館の管理運営の支援的役割を担う委員会を設置すること。 (4)自然及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点						
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	105%以上 5点	0点						
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 上記(1)・・・[H21 8,080人 + H22 8,866人 + H23 8,995人 + H24 9,797人 + H25 9,299人] ÷ 5 = 9,007.4 平均値比(104%)=利用人数(延べ9,391人)÷上記(1)×100 (資料①)	105%未満~95% 4点	昨年度の平均値比(平成26年度実績) 104% 昨年度の延べ利用者数(平成26年度実績) 9,391人	8点					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	30	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	仕様書には年度を通して36回以上のイベント、8回以上の講座及び10回以上の展示会を企画し、実施することと記載されているところを、40回のイベント、12回の講座、10回の展示を企画している。(資料②-1、2) 「小中学校の総合的な学習の時間における来館者(者)への対応」とあるが、32回(予約は40回だが、雨天等で中止あり)実施している。(資料②-1、3) また、「国土交通省、岐阜県、多治見市などの公共機関及び関連団体に協力を旨、仕様書に定めてあるが、653回の打ち合わせ、調査協力等を行っている。(資料②-1、4)	仕様書以上 15点	河川に親しむイベントが中心だが、川の中に入れない冬の時期はバードウォッチ、散策や登山の企画を立案し、イベントに参加する人が増加に少ない月がないように工夫をしている。また、毎年定年で開催することが多いため、自然環境の変化も敏感に察知することができている。 小学校の総合学習は、多治見市内の小中学校が全体の69%を占めるが、土岐川流域の他市の小学校にも協力しており、土岐川流域の団体との交流の一端になっている。 行政関係へのサポートは回数では、多治見市役所の相談件数が多いものの、実際にサポートをした人数は他市が多くなっており、流域市町村のイベントに大きく貢献している。	30点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	-	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2~0点	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2~0点	期待以上 15点	0点							
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	仕様書に決められた回数以上に行っている。(資料③参照)	適正(普通) 2点	特に市民の目につく場所である、扉・ガラスやトイレの清掃を決められた回数以上行っており、期待以上に行われている。	10点					
			②保守・点検			独自のマニュアルを作成し、水槽の保守点検を開館中の毎日行っている。施設内外も毎日点検し、破損等がないか確認をしている。	適正(普通) 2点	適切に管理をされている。						
			③保安・警備			セキュリティ会社に夜間警備を委託している。毎日の施設は複数人で確認をしている。	適正(普通) 2点	適切に管理をされている。						
			④小規模修繕			視覚障がい者の点字シールが剥がれたのを修理した。	適正(普通) 2点	適切に修繕をしている。						
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			屋内はバリアフリーになっているが、駐車場から館内に入るスロープがやや急であるため、手を貸したり、付添いの人に注意を促すようにしている。観察館前の道路が抜け道になっているため来館者が交通事故に遭ったり、また物損事故が起こる可能性がある。このため、外に来館者が留まっているときは館内に入るよう勧めたり、車に注意するように促す。案内看板を出し、運転手に注意を促すようにしている。積雪時は雪の重みや湿度によって天井がたわみ、扉が開けることができなくなるため、こまめに雪掻きをして雪の重みを減らすようにしている。	適正(普通) 2点	来館者の安全を心がけ、適切に行っている。						
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	市役所の文書管理システムに準拠し、キャビネットで文書を保管している。	適正(普通) 2点	適切に管理をしている。						
			②環境への配慮			消耗品を購入する際は、再生資源のものや環境負荷の小さなものを選択している。また壊れても直せるものは直したり、他施設で利用したものを再利用している。公用車を運転する機会が多いが、エコドライブに気を付け、必要な場合はアイドリングストップをしている。	適正(普通) 2点	適切に行っている。						
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入19,390,082円÷支出18,125,476×100=106.9%(資料④)	105%以上 5点	適切に管理されている。	5点						
					4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	企画終了時に常に利用者、参加者に意見を聴くようにしている。 ・スタッフが参加者が分かりにくいと指摘があったので、分かりやすい名札や共通の帽子・服を着用するようにした。 ・駐車場の位置が分かりにくいと意見されたときには、次回から参加者に丁寧に説明をするようにスタッフに周知した。	適正(普通) 7点	企画で出た意見は、反映できるものはすぐに企画に反映されている。	7点
								②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	特になし	4点
							(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	公共施設へのサポート件数 国土交通省176回、岐阜県186回、多治見市265回(資料②-4) 国・県・市が実施する公共事業環境調査や外来生物駆除活動に積極的に参加しており、必要に応じて助言をしている。多治見市内の大規模な公共事業の委員会に参加したり、国・県の協議会に参加し、自然環境に配慮した工事になるよう適切に助言をしている。また、絶滅危惧種のデータ収集に努め、保護活動を行っている。	期待以上 15点	公共事業前に相談や調査を積極的に行っており、これらの事業実施に大きく貢献しているため、期待以上とする。国・県・市の仲立ちとしての役割もあり、今後もこの役割を期待している。	15点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	月次報告書と年次報告書は定められた期日までに提出している。	遅れ・不備なし 減点なし	月次報告書は10日以内、年次報告書は1か月以内に提出されている。不備はない。	0点						
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特に指示をすることがなかった。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	特になし	0点						
		合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下		全体的な評価 イベント企画回数は仕様書以上だが、雨天や増水に影響するため、イベント実施回数が予定していたよりも減少してしまっただ。ただ、イベントはリピーターが多く、安定して参加者を集めている。また、野外でのイベントが多いが、安全面に特に留意し実施しており、事故なく実施できていることは大きく評価できる。 市民団体、自然団体、関係行政機関の事業を助言・サポートしており、これらの団体等の事業実施に大きく貢献している。	合計89点 極めて良好						